

平成26年度第2回富里市国民健康保険運営協議会会議録(要点筆記)

招集年月日	平成26年8月7日		
招集の場所	富里中央公民館2階 研修室(大)		
開会・閉会の時間	開会 平成26年8月7日 13時30分 閉会 平成26年8月7日 14時30分		
◎会長 ○会長職務代理	氏名	出欠等の別	届出の有無
	◎池田 明	○	
	○大塚 良一	○	
	林田 美恵子	○	
	綿貫 文雄	欠	有
	大竹 俊子	○	
	田中 章三	○	
	我妻 道生	○	
	内田 啓二	欠	有
	麻野 邦子	○	
会議録署名委員	池田 明		
説明のため出席した者の職氏名	国保年金課長	栗原 智彦	
	国保年金課主査	岩館 進	
	国保年金課主査	秋葉 忍	
職務のため出席した者の職氏名	国保年金課主査補 寺沢 宏明		
会議に附した事件	別紙のとおり		
会議の経過	別紙のとおり		

平成26年度第2回富里市国民健康保険運営協議会会議次第

日 時 平成26年8月7日(木)

午後1時30分～

場 所 富里中央公民館2階 研修室(大)

1 開 会

2 市長あいさつ

3 議 題

平成26年度富里市国民健康保険特別会計補正予算(案)について

4 その他

(1) 平成25年度富里市国民健康保険特別会計決算状況について

(2) 次回会議予定について

次回会議予定

事務局(案) 平成26年11月13日(木) 午後

※開催する場合は事前に通知します。

5 閉 会

○委員の意見 ⇒市の説明

議題

平成26年度富里市国民健康保険特別会計補正予算(案)について

⇒資料1のP1～P4今回の補正は、交付金や負担金の決定、前年度剰余金の計上や基金への積立等、全て精算行為によるものです。

(歳入)

退職被保険者療養給付費交付金 現年度の決定

前期高齢者交付金 平成26年度交付金の決定。

基金繰入金 不足額の繰り入れ。

その他繰越金 平成25年度剰余金。

(歳出)

後期高齢者支援金からP3介護納付金までは 平成26年度の負担額決定。

基金積立金 剰余金の1/2を積み立てる。

償還金 平成25年度の退職被保険者等療養給付費交付金の実績報告による返還金。

一般会計繰出金 事務費等繰入金，出産育児諸費繰入金の精算による返還金。

歳入歳出に2億9,952万7千円を増額し，総額が64億2,761万9千円。

基金の残高は約1億6,455万221円。

○特別調整交付金2億程多く交付していただいているようですが，特別な事情があるということはどういったものですか。

⇒当初予算では，前年の額が9千万ほどであったため25年度も同額を計上しましたが，結果，見込みより多く収入がなされました。内容につきましては，富里市は東日本大震災の被災地・被災区域に指定されていて，中でも，医療費が伸びているところについては，多く交付されました，ただ，来年どうなるかは不明ですが25年度については，見込みを大きく超えて2億2千万ほど歳入になったものでございます。

○基金積立金について，半分積立てるということですが残りの半分はどうなるのか

⇒繰越金の残りの半分については，歳出予算を今回組んでおりますので，そちらに充てております。国へ返納する予算として組んでいます。

○保険事業，健康診査など国の方から健診率上昇の指導がきていると思います，また，富里市の目標健診率を45%としているが，最近の報道等で人間ドック学会がドックの診査項目幅を広げたり，健康診断を市町村など公費で大量に出したりしていいのか，という議論が全体的にいろいろとあると思います。

毎年・毎年同じことをやって同じような数値で，本人もその結果をもとに努力するなら別だが，公費で毎年受けなくてもいいのではないかという声も出

ていると思いますが、そのあたり、国や医師会などの考えがわかれば教えてほしい。

⇒色々な立場から色々なご意見があるとお聞きしています、健診の費用を国は保険者が持たないとは言及していませんが計画を立てて受診率の目標を定め努力をなさいたいというのが国の見立てです、富里市の現状は、予算上は40%・実態にかけ離れた数字で予算化はできないため、40%を目標としてここ数年取り組んでまいりました。25年度につきましては35.6%の受診率で近隣と比較すると白井市に次いで良い数字でございます。合わせて人間ドックの助成制度の結果を健診のデータに取り組みようなこともあり、数字が上がっているとも思える。人間ドックの項目については、学会の方で議論がなされていると思いますが、統一された最低項目をベースに補助をしているが、それを絞り込むことや拡大するまでは現場レベルではまだ話が進んでないのが実態です。状況については以上です。

その他⇒ご存じだと思いますが医師会のドックについては、健康な人達の数値で作っています、学会で出しているのは一定の地域を追いかけ、先々の病気の状況を見ながら出している。学会は今後の数値、医師会は健康の人の数値なので基準が違います。医師会としては、日本は全体的には長寿で、最低限これだけのことをやってきた積み重ねが日本を支えているという考えですので必要性はあると思います。また、企業などはしっかりやっているが、それ以外の人は健診などを受けられないのが現状のため、やはりこういった市町村での健診などは維持が必要ではないかと思えます。

○国保税の徴収率について、25年度の富里市の率は82.15%でお伺いしています、もっと上がるよう期待していますが状況は。

⇒以前にも申し上げましたが、市役所の中に徴収対策本部を設置し、副市長を長として関係課長・中堅職員で年間計画をたて徴収強化月間等で取り組んだ結果、また、資料2-2ページの決算・右枠税徴収率と記載がありますが、現年分として、25年度につきましては82.15。24年度につきましては80.72と1.43向上しております。また、過年度分として1.30伸びている。まだ統計が出ていませんが、県下の平均は恐らく88程と思われますのでそれに近づくよう努力します。今度、広域化により千葉県が経営の主体となり、保険者になるということで平均に向けて、徴収の強化もより強く求められると。税金についても各市町村で決めなさいというのが県の考えです。今までは保険料を均一化するために保健所を一元化する議論でことが進んでいましたが、県の抵抗があり保険料についてはどうやら市町村が決めるということで聞いております。いずれにせよ平均の数値に近づける努力をする必要が今後もあるということでございます。

○採決に移ります。

平成26年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（案）について、賛成の方は挙手をお願いします。

挙手全員

挙手全員です、よって承認されました。

4, その他, 平成25年度富里市国民健康保険特別会計決算状況について

⇒資料2 P1 歳入のうち,

1 国民健康保険税は, 前年度比0.48%の増。

2 国庫支出金は, 前年度比17%の増。

療養給付費負担金は, 補助率が下がったことにより前年度比9.10%の増。

財政調整交付金は, 市町村間の財政力の不均衡を調整するための制度で, 前年度比47.40%の増。

3 療養給付費交付金退職被保険者等の医療費実績に応じた交付金で前年度比12.53%の減。

4 前期高齢者交付金は, 費用負担の不均衡を調整するための交付金で前年度比13.55%の増。

5 県支出金は, 調整交付金の補助率が上がり前年度比3.12%の増。

8 繰入金は, 歳入不足を補うため2億9,161万円を一般会計から繰り入れ。

基金繰入金は, 当初予算で約1,910万円, 9月補正で約3,982万9千円を取り崩しました。

9 繰越金は, 平成24年度の剰余金の全額を繰り越しました。

歳入の合計は, 65億980万3,308円で前年度比8.12%の増。

国民健康保険特別会計準備基金は, 平成25年度末の残高が, 5,756万7,854円。

P3 歳出のうち

2 保険給付費は, 被保険者の疾病・負傷・出産・死亡等の給付で, 前年度比6.62%の増。

出産育児一時金は, 116件, 葬祭諸費は, 91件。

3 後期高齢者支援金は, 後期高齢者医療費の支援金及び事務費の支払で, 前年度比7.11%の増。

6 介護納付金は, 介護保険第2号被保険者に係る納付金で, 前年度比5.31%の増。

7 共同事業拠出金は, 高額な医療費に対する保険者の財政負担を緩和するための県内市町村で行う共同事業の拠出金で, 前年度比5.15%の増。

9 基金積立金は, 平成24年度の決算剰余金の積み立てで, 平成25年度から一般会計と同様に剰余金の1/2を下らない額を基金に積み立てる方法に変更し前年度比で減。

11 諸支出金等は, 平成24年度療養給付費等負担金の償還金などにより前年度比42.05%の減。

歳出合計は, 61億472万2,575円で, 前年度から4.43%の増。

○先程も税の方の説明がありましたが, 経済状況がよくなったということで納付状況がよくなったのか, また, コンビニの収納状況も聞ければお願いします。

⇒所得状況におきましては、今年度の賦課について国保の所得を有する世帯の平均は上がっておりますが、昨年度については24年度より下がっている（25年度賦課・決算比較）。ただし、納税課を中心とした徴収強化の実施や電話催告など日々の業務での納税相談の対応などでの結果、最終的に納付状況が上がったと思います。なお、数字として前年度を超えてはおりますが、分母の全体的な調定額につきましては下がってきている傾向にはあります。

○先程、県が保険者になるということだか、後期はそのままなのか、何か動きはありますか、いずれ県になるなど。

⇒後期高齢につきましては、政権交代などで議論もございましたが存続するということが今日に至る。国保の広域化の話も当時からあったが一元化の話までいかず、後期はそのままということで現在、国保と一体化する議論はなされていません。県がやるとなっているが実態は市町村がやるのと何も変わらないような議論しかされていないというのが状況です。

次回の会議日程

11月の13日（木）